

2023年07月16日

「いつも神様に従う決心」

アメリカの作家ピーター・マーシャルが海軍士官学校のチャプレンとして赴任した日、校庭で新入生たちに学校の規則について説明している教官の声が聞こえてきました。

「諸君はこの15の規則を必ず覚えて守らなければならない。しかし、今すぐこの15の規則を覚えられなくても心配することはない。今の時点では、諸君を教える教官の指示に常に服従すると堅く決心さえしていればよい。分かったか!」

そのとき、ピーター・マーシャルは心の中でこのように決心しました。「そうだ、私は神様のすべての教えを完璧に覚えられなくても大丈夫だ。日々、私を導いてくださる神様の指示に従う決心さえあればいいのだ。私は、常に私を導いてくださる主に従う」

私たちが聖書のすべての真理を完璧に記憶することができなくても大丈夫です。ただ、生きておられる主の導きに常に従う決心さえ揺るがなければよいのです。そうすれば、聖霊が導いてくださるでしょう。

信仰とは何でしょうか。それは、自分の思いを捨てて、神様のみこころに従うことです。そして、時には頑な心で神様に逆らい、自分の意を通そうとしたとしても、それが主のみこころでないことを悟ったなら、意地を張らず、血を吐く思いで主にすべてを委ねていく態度です。私たちの人生の道を導かれるのは神様です。私たちは、この方の御手にすべてを委ね、静かに安らいでいければよいのです。

最終的には、最も素晴らしい結果へと導かれる神様の御手を体験することになるのですから。

リビングライフ・コラムより

週報

§ 今年の教会テーマ
「恵みあふれる教会」

§ 今年の主題聖句

「私たちはみな、この方の満ち満ちた豊かさの中から、恵みの上にさらに恵みを受けた。」ヨハネ1章16節

〒513-0035 鈴鹿市矢橋町 471-2
宗教学者 日本ネクスト・タウンズ・クルセード
鈴鹿キリスト福音教会
059-383-5145(教会)
080-3706-8433(牧師)

今週の礼拝メッセージ

「異邦人への宣教の道」

聖書箇所

使徒の働き 13章1～13節

アンティオキア教会にはバルナバをはじめとして多彩な賜物を与えられた優れた指導者が多くおり、彼らは聖霊に満たされて霊調の高い礼拝をもって主に仕えていました。そのような教会を主は異邦人宣教の働きにとバルナバとサウロを指名して導かれました。使徒の働き 13章、14章はパウロ（サウロ）の第1次伝道旅行の記録です。

1. 神は私たちに語りかけ、導いて下さるお方である 2節
「使徒の働き」には繰り返し、何度も主からの語りかけが記されている。
神は私たちにも個人的に語りかけ、教え、導いて下さる
ヨハネ 5:25 まことに、まことに、あなたがたに言います。死人が神の子の声を聞く時が来ます。今がその時です。それを聞く者は生きます。
2. 二人はひとりに勝っている 4節
主はいつも弟子たちを二人ずつを1組にして派遣された
マル 6:7 また、十二人を呼び、二人ずつ遣わし始めて、…

伝道 4:9 二人は一人よりもまさっている。二人の労苦には、良い報いがあるからだ。10 どちらかが倒れるときには、一人がその仲間を起こす。倒れても起こしてくれる者のいないひとりぼっちはかわいそうだ。11 また、二人と一緒に寝ると温かくなる。一人ではどうして温かくなるだろうか。12 一人なら打ち負かされても、二人なら立ち向かえる。三つ撚りの糸は簡単には切れない。

3. 伝道の働きは霊の戦いでもある 6～12節

主が働かれる時には、暗闇の力であるサタンも主のわざを妨げようとして対抗してくる。エペソ 6:10～
信仰生活にはこの「霊的戦い」という場があることを覚えていなければならない。

- ◎ このメッセージから
*人間とはどういう者でしょうか。

*神はどのようなお方でしょうか。

【報 告】

- ※ 30日(日)の礼拝後には「おにぎり昼食交わり会」を計画しています。参加希望の方は今日中に申込書の名前にチェックしてくださいようお願いします。

【メモ】